

青森県生協連 2021 年度ユニセフのつどい開催報告

1.開催日程 2022 年 2 月 14 日(月) 10:00～11:40 コープあおもり本部集会室

2.参加者 約 20 人 zoom 参加

参加生協 コープあおもり、青森県民生協、津軽保健生協、青森県民生協

3.スケジュール

10:00～10:05	開会 青森県生協連常務理事 三浦 雅子
10:05～10:50	オンライン講演(ユニセフ協会団体企業事業部 石尾匠氏) ・コロナ禍での世界の子ども・女性の状況とユニセフの役割について ・東ティモールの状況と支援状況について
10:50～11:20	グループワーク
11:20～11:40	各生協の取り組み報告 ・津軽保健生協 齋藤淳一氏 ・コープあおもり 加藤るみ氏
11:40	閉会 青森県生協連常務理事 三浦 雅子

4.概要

・新型コロナウイルス感染予防の観点から、大勢の参加者による三密を回避するため「2022 年度ユニセフのつどい」をオンライン開催としました。また、昨年度と同様に講師を招かず、オンラインでの講演という形としました。当日は 4 生協から約 20 名の参加となりました

・ユニセフ協会団体企業事業部 石尾 匠氏のオンライン講演を行いました。

「コロナ禍での世界の子ども・女性の状況とユニセフの役割について、東ティモールの状況と支援状況について」をテーマにご講演いただきました。

ユニセフ募金についての説明と動画の視聴、クイズを交えながら東ティモールの紹介と活動報告がありました。

現在行われている支援だけでなく、戦後の日本へ行われた脱脂粉乳、原綿などの配給支援についても紹介されました。

新型コロナウイルスについては、東ティモールでの感染状況とユニセフの対応の報告などがありました。

・津軽保健生協とコープあおもりの募金の取り組みの紹介をしました。ハンドインハンド募金、病院施設でのカレンダー募金など、取り組んでいる活動についての報告がありました。

・参加者でのグループワークを行いました。

テーマは「すべての子どもたちに『〇〇』を」とし、『 』の中に入る言葉を話し合いました。各グループからは『笑顔』『未来』など、今後の募金活動にもつながる前向きな意見がありました。

